

新宮山彦ぐるーぷ第2008回  
行仙宿↓下北山村浦向（浦向道）巡回整備

◇実施日：2019年2月3日（日） 晴のち曇り  
◇参加者：沖崎吉信、生熊敏男・千満子、濱野兼吉、川島功、児嶋道夫、上村洋司・和美、畑林清子、豊嶋寛、山川治雄、岩本信行、梶野照雄。 13名。

行仙宿作業

- \* 檜木（ホダギ）の運搬（カラ池付近よりお堂の前へ）
- \* 倒木・斜木整理（小切って薪材用に）
- \* マナーを守って・宿泊料金の案内取り替え
- \* 水場の点検と採水
- \* お正月飾りの片付け

浦向道次回の課題

- \* 道標の取り替え（大半が腐朽している。10カ所）
- \* ペグ風の案内標追加（15〜20本、浦向道書き込み分）
- \* 尾根上に架設した丸太橋の取り替え



荷物を満載して



登山口水場



檜木を運ぶ



斜木を薪材に



本日の参加者



一本目の倒木切除

10時前後に小屋着、雨が早くなる可能性もあるので、11時

一週間前から出る週間天気予報で2〜3は雨の予報だった。2〜4から3〜2迄の一月半は国道425号が工事のため全面通行止めとなることもあり、何とか晴れてくれ、と祈る気持ちだったが、それが通じたのか夕方から雨とのことで、日中は何とか降られずに済みそうな予報に変わった。  
13名の参加申し込みがあつて、朝7時半に沖崎宅を出発、8時半過ぎ、浦向集落先の森林組合倉庫前へ全員終結。四駆でスタッフドレスタイヤ装着の沖崎車と豊嶋車に分乗して行仙宿向け出発。実利行者碑の先付近で明日から工事が始まるということだったが、その気配・準備の様子もなく、どこで工事をするのか判らずじま이었다。  
俱利伽羅谷の橋まで来たが、凍結や積雪は全くない。登山口まで来ても今日は雪がない。準備してきたアイゼンも不要だ。持参の薪6束や各自のリュックなどをモノレールに満載して生熊さんが運転して運び上げた。  
雨も雪もほとんど降っていないので、登山口の水場もかろうじて流れている状態になっていた。

過ぎに早めの昼食を摂り、12時に出発と決めて昼食までの間に各自が前記の作業を行う。梶野、濱野、豊嶋の三人は水場へ、児嶋さんは熊手で小屋周りの落ち葉清掃。小屋内外に異常はない。昼食時、玉岡さんが巻尺で実測した太古の辻く本宮備崎間の距離表を配布した。



平成25年に設置の橋

横たわった木を切除

林道と交差

当初、生熊、沖崎の二人が車の回送役だったが、畑林さんと上村、生熊の各夫妻、計5人が同時に降りて車を回送、十津川橋から上向きに歩くこととなり、沖崎が浦向道の歩行組に加わった。予定通り12時に小屋を出る。モノレール終点手前から浦向道に入る。入ってすぐ、20mほどで倒木があり、続けて3カ所で切除処理した。その後は登山道に突き出した枝を数カ所で切除、林道交差の少し上で横たわっていた杉を一本処理した。林道登山道に異常はなかったが、前述もしている気になった点があった。

1 道標がかなり腐朽しているので更新が必要

2 尾根上の丸太橋は平成25年4月8日に10人が出向いて設置工事をしたもので、設置後6年が経過している。まだ1く2年は大丈夫と思うが、橋桁の丸太3本に弛みや緩みが認め

られるので早期の取り換えが必要かと思う。丸太3本をこの先から引張ってきた苦労を思い出す。3 一般登山者の場合、隊列を組んで歩くことが普通であるが、我々ぐるーぷは倒木の処理や道標の整備など、様々な作業をしながら歩くことになる。中程を歩く者が何か作業をした場合、前方を歩いている者はそのまま前へ、後方の者はその作業を手伝う、或いは追い越して前へ進む。最後尾の者が作業をした場合は一人遅れて前を追うことになる。

今回心配した前述のことが起こってしまった。二手に分かれた後半の5人が、途中、鉄塔巡視路を下ってしまった。更に5人が3人と2人に分かれた。前方の山川さんから声が上がリ事なきを得たが、これが一人や二人で、また声も届かない場所であれば大事になるところであった。何度も歩いている道であるが、再び起り得ることであるので十分に気を付けようではないか。

倒壊している廃屋のある沢で下から登ってきた車回送組の皆さんと合流し登山口へ戻った。



道標の整備

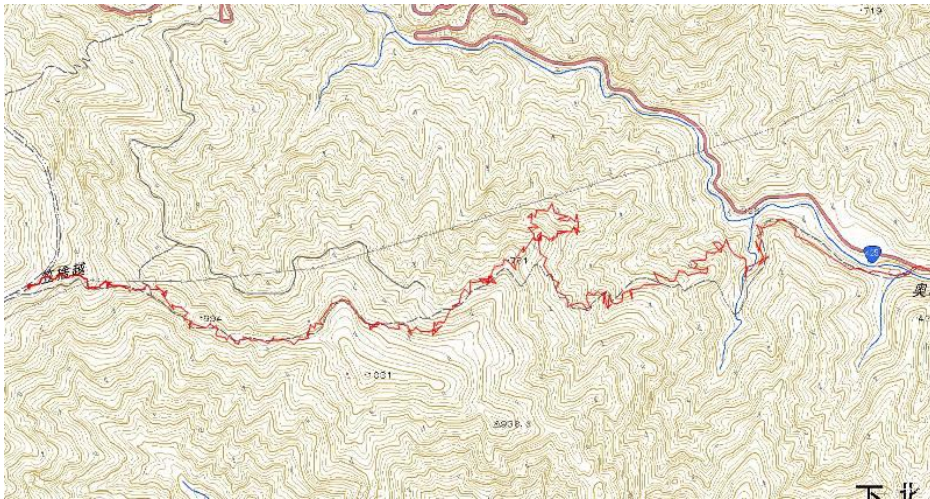
浦向道登山口着

一月の下旬、九州柳川市の吉開賢淳行者さんから「有明海の新海苔」が送られてきた。本日行者堂にお供えの後、参加者の皆さんに分けさせていだいた。その海苔に添えられていた一句  
奥駆けに奉仕する人神近し

#### 行動タイム

浦向・森林組合倉庫 08:30 ↓ 補給路登山口 09:00 ↓ 09:45 行仙宿  
12:00 ↓ 12:10 浦向道分岐 ↓ 13:03 林道交差 ↓ 14:22 廃屋 ↓  
15:00 浦向道登山口

(記：沖崎 写真：梶野・川島)



鉄塔巡視路に入り、30分のロス